

電気料金メニュー定義書

【ビジネスあかり】

平成29年10月1日実施
京葉瓦斯株式会社

目 次

1. 実施期日	1
2. 定義	1
3. 適用条件	1
4. 供給電気方式、供給電圧および周波数	1
5. 契約電流	1
6. 適用開始日	1
7. 電気料金	1
8. 契約電流の変更	2
9. 契約容量の変更	2
10. ビジネスあかりの定義書の変更および廃止	3

別 表

1. 燃料費調整	4
2. 契約容量および契約電力の計算方法	5

電気料金メニュー定義書【ビジネスあかり】（以下「ビジネスあかりの定義書」といいます。）は、当社の電気需給約款（以下「電気需給約款」といいます。）にもとづき、電灯または小型機器をご使用のお客さまへ電気を小売するときの料金その他の条件を定めたものです。

なお、ビジネスあかりの定義書に定める基本料金、電力量料金、割引額および燃料費調整における基準単価の金額は、全て消費税等相当額を含みます。

1. 実施期日

ビジネスあかりの定義書は、平成29年10月1日より実施します。

2. 定義

電気需給約款に定義される言葉は、ビジネスあかりの定義書においても同様の意味で使用します。

3. 単位および端数処理

ビジネスあかりの定義書において電気料金その他を計算する場合の単位およびその端数処理は、次のとおりとします。

(1) 契約容量の単位は、1キロボルトアンペアとし、その端数は、小数点以下第1位で四捨五入します。

4. 適用条件

ビジネスあかりの定義書にもとづく電気料金メニュー（以下「ビジネスあかり」といいます。）は電灯または小型機器をご使用のお客さま向けのメニューとし、次のいずれにも該当するものに適用します。

- (1) 契約容量が6キロボルトアンペア以上であり、かつ、原則として50キロボルトアンペア未満であること。
- (2) 1需要場所において動力をご使用のお客さま向けのメニューとあわせて契約する場合は、契約容量と契約電力との合計（この場合、1キロボルトアンペアを1キロワットとみなします。）が50キロワット未満であること。ただし、1需要場所において動力をご使用のお客さま向けのメニューとあわせて契約する場合でお客さまが希望され、かつ、当社が認めたときは、(1)に該当し、かつ、(2)の契約容量と契約電力との合計が50キロワット以上であるものについても適用することがあります。この場合、送配電事業者は、お客さまの土地または建物に変圧器等の供給設備を施設することがあります。
- (3) 本定義書で定義される電気を動力に使用しないこと。

5. 供給電気方式、供給電圧および周波数

供給電気方式および供給電圧は、交流単相3線式標準電圧100ボルトおよび200ボルトとし、周波数は、標準周波数50ヘルツとします。ただし、技術上やむをえない場合には、交流単相2線式標準電圧100ボルトもしくは200ボルトまたは交流3相3線式標準電圧200ボルトとすることがあります。

6. 契約容量

- (1) 契約容量は、契約主開閉器の定格電流にもとづき、別表2.（契約容量および契約電力の計算方法）により計算された値を参考に1年間を通じての最大負荷を基準として、お客さまから申し出ていただきます。この場合、あらかじめ契約主開閉器を設定していただきます。ただし、他の小売電気事業者から当社へ契約を切り替える場合は、原則として、他の小売電気事業者との契約終了時点の契約容量の値を引き継ぐものとします。
- (2) 送配電事業者は、契約主開閉器が制限できる電流を、必要に応じて確認します。

7. 適用開始日

- (1) ビジネスあかりの適用開始日は、電気需給約款6.（電気需給契約の申し込み）に定める電気需給契約の申し込みの場合には、電気需給約款9.（供給の開始）(1)に定める需給開始日とします。
- (2) 電気需給約款27.（他の電気料金メニューへの変更）に定める電気料金メニューの変更の場合には、原則として、当社が変更を承諾したのちに到来する電気の計量日とします。

8. 電気料金

電気料金は、基本料金、割引額、電力量料金および電気需給約款別表1.（再生可能エネルギー発電促進賦課金）(3)によって計算された再生可能エネルギー発電促進賦課金の合計とします。

(1) 基本料金

基本料金は、1か月につき次のとおりとします。ただし、まったく電気を使用しない場合の基本料金は、半額とします。

契約容量1キロボルトアンペアにつき	280.80円
-------------------	---------

(2) 割引額

- ① 電気を使用する需要場所において、当社との間で締結しているガス使用契約の種別に応じて1か月の割引額を設定し、差し引きます。その割引種別、適用条件ならびに金額は次の通りです。

a. ペア割	家庭用ガス暖房契約、家庭用ガス温水床暖房契約ならびに家庭用コージェネレーションシステム契約以外のガス使用契約を締結していること	170.00円
b. ほっと割	家庭用ガス暖房契約または家庭用ガス温水床暖房契約を締結していること	250.00円
c. ピカ割	家庭用コージェネレーションシステム契約を締結していること	300.00円

- ② 上記①にかかわらず、電気の計量日において、新たにガスの使用を開始していない場合は、当該計量日を含む使用期間の割引額は0円とします。
- ③ お客さまが、上記①の適用条件を満たさないことが判明した場合は、判明した日以降に到来する電気の計量日を含む使用期間の割引額は0円とします。
- ④ お客さまがガス使用契約の種別を変更した場合は、変更後のガス使用契約の種別に応じて割引種別を変更し、適用します。変更後の割引種別は、変更後のガス使用契約成立日以降に到来する電気の計量日を含む使用期間に適用します。
- ⑤ 割引種別の変更にとまなない、当社がお客さまに対し、供給条件の説明、契約締結前の書面交付および契約締結後の書面交付を行う場合は、電気需給約款4.（本約款等の変更）(2)および(3)に準じます。

(3) 電力量料金

1か月の電力量料金は、電気需給約款13.（電気の使用期間）に定める当月の使用電力量により、次のとおりとします。ただし、別表1.（燃料費調整）(1)①によって計算された平均燃料価格が44,200円を下回る場合は、別表1.（燃料費調整）(1)④によって計算された燃料費調整額を差し引いたものとし、別表1.（燃料費調整）(1)①によって計算された平均燃料価格が44,200円を上回る場合は、別表1.（燃料費調整）(1)④によって計算された燃料費調整額を加えたものとします。

電力量区分	最初の400キロワット時までの1キロワット時につき	23.97円
	400キロワット時をこえる1キロワット時につき	25.86円

9. 契約容量の変更

- (1) 当社が、お客さまからの契約容量の変更のお申し込みを承諾した場合には、変更後の契約容量にもとづく基本料金を、原則として、変更を承諾したのちに到来する電気の計量日より始まる使用期間の電気料金の計算に適用します。

- (2) 契約容量の変更にともない、当社がお客さまに対し、供給条件の説明、契約締結前の書面交付および契約締結後の書面交付を行う場合は、電気需給約款4.（本約款等の変更）(2)および(3)に準じます。

10. ビジネスあかりの定義書の変更および廃止

- (1) 当社は、ビジネスあかりの定義書を変更する場合には、電気需給約款4.（本約款等の変更）に準じます。
- (2) 当社は、ビジネスあかりの定義書を廃止することがあります。この場合、当社はあらかじめ一定期間、廃止のお知らせおよび廃止日を当社ホームページに掲載します。
- (3) ビジネスあかりの定義書の廃止にともない、当社がお客さまに対し、供給条件の説明、契約締結前の書面交付および契約締結後の書面交付を行う場合は、電気需給約款4.（本約款等の変更）(2)および(3)に準じます。

別表

1. 燃料費調整

(1) 燃料費調整額の計算

① 平均燃料価格

原油換算値1キロリットル当たりの平均燃料価格は、貿易統計の輸入品の数量および価額の値にもとづき、次の算式によって計算された値とします。また、平均燃料価格は、100円単位とし、100円未満の端数は、10円の位で四捨五入します。

$$\text{平均燃料価格} = A \times \alpha + B \times \beta + C \times \gamma$$

A=各平均燃料価格計算期間における1キロリットル当たりの平均原油価格

B=各平均燃料価格計算期間における1トン当たりの平均液化天然ガス価格

C=各平均燃料価格計算期間における1トン当たりの平均石炭価格

$$\alpha = 0.1970$$

$$\beta = 0.4435$$

$$\gamma = 0.2512$$

なお、各平均燃料価格計算期間における1キロリットル当たりの平均原油価格、1トン当たりの平均液化天然ガス価格および1トン当たりの平均石炭価格の単位は、1円とし、その端数は、小数点以下第1位で四捨五入します。

② 燃料費調整単価

燃料費調整単価は、次の算式によって計算された値とします。

なお、燃料費調整単価の単位は、1銭とし、その端数は、小数点以下第1位で四捨五入します。

イ. 1キロリットル当たりの平均燃料価格が44,200円を下回る場合

$$\text{燃料費調整単価} = (44,200\text{円} - \text{平均燃料価格}) \times ((2)\text{の基準単価} \div 1,000)$$

ロ. 1キロリットル当たりの平均燃料価格が44,200円を上回る場合

$$\text{燃料費調整単価} = (\text{平均燃料価格} - 44,200\text{円}) \times ((2)\text{の基準単価} \div 1,000)$$

③ 燃料費調整単価の適用

各平均燃料価格計算期間の平均燃料価格によって計算された燃料費調整単価は、その平均燃料価格計算期間に対応する燃料費調整単価適用期間に使用される電気に適用します。各平均燃料価格計算期間に対応する燃料費調整単価適用期間は、次のとおりとします。

平均燃料価格計算期間	燃料費調整単価適用期間
毎年1月1日から3月31日までの期間	その年の5月の計量日から6月の計量日の前日までの期間
毎年2月1日から4月30日までの期間	その年の6月の計量日から7月の計量日の前日までの期間
毎年3月1日から5月31日までの期間	その年の7月の計量日から8月の計量日の前日までの期間
毎年4月1日から6月30日までの期間	その年の8月の計量日から9月の計量日の前日までの期間
毎年5月1日から7月31日までの期間	その年の9月の計量日から10月の計量日の前日までの期間
毎年6月1日から8月31日までの期間	その年の10月の計量日から11月の計量日の前日までの期間
毎年7月1日から9月30日までの期間	その年の11月の計量日から12月の計量日の前日までの期間

毎年8月1日から10月31日 までの期間	その年の12月の計量日から翌年の1月の計量日 の前日までの期間
毎年9月1日から11月30日 までの期間	翌年の1月の計量日から2月の計量日 の前日までの期間
毎年10月1日から12月31日 までの期間	翌年の2月の計量日から3月の計量日 の前日までの期間
毎年11月1日から翌年の1月31日 までの期間	翌年の3月の計量日から4月の計量日 の前日までの期間
毎年12月1日から翌年の2月28日 までの期間（翌年が閏年となる場合は、 翌年の2月29日までの期間）	翌年の4月の計量日から5月の計量日 の前日までの期間

④ 燃料費調整額

燃料費調整額は、その1月の使用電力量に②によって計算された燃料費調整単価を適用して計算します。

(2) 基準単価

基準単価は、平均燃料価格が1,000円変動した場合の値で、次のとおりとします。

1キロワット時につき	0.228円
------------	--------

(3) 燃料費調整単価等のお知らせ

当社は、(1)①の各平均燃料価格計算期間における1キロリットル当たりの平均原油価格、1トン当たりの平均液化天然ガス価格、1トン当たりの平均石炭価格および(1)②によって計算された燃料費調整単価を当社ホームページに掲載します。

2. 契約容量および契約電力の計算方法

お客さまが契約主開閉器により契約容量または契約電力を定めることを希望される場合で、当社がその旨を承諾する場合の契約容量または契約電力は、次により計算します。

- (1) 供給電気方式および供給電圧が交流単相2線式標準電圧100ボルトもしくは200ボルトまたは交流単相3線式標準電圧100ボルトおよび200ボルトの場合

$$\text{契約主開閉器の定格電流 (アンペア)} \times \text{電圧 (ボルト)} \div 1,000$$

なお、交流単相3線式標準電圧100ボルトおよび200ボルトの場合の電圧は、200ボルトとします。

- (2) 送配電事業者が技術上やむをえず、供給電気方式および供給電圧を交流3相3線式標準電圧200ボルトとする場合

$$\text{契約主開閉器の定格電流 (アンペア)} \times \text{電圧 (ボルト)} \times 1.732 \div 1,000$$